

教育研究所だより

No.235 令和5年7月20日 【発行者】守山市教育研究所 所長 脇阪 久徳
守山市勝部三丁目9番1号(守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター 3・4階)
TEL:077-583-4217 FAX:077-583-4237
E-mail:kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp
HP:http://www.city.moriyama.lg.jp/kyoikukenkyu_index.html



第2回初任者研修を実施しました



令和5年6月27日(火)、地域総合センター・もりやまエコパーク交流拠点施設で、「第2回守山市初任者研修」を行いました。

午前の研修の前半では、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」について、滋賀県総合教育センター中井やよい研修指導主事からご講義をいただきました。多面的・多角的に考えることができる授業の工夫について道徳科を通して学びました。後半は地域総合センター古川良彦同和指導員から「部落問題と守山の人権教育について」ご講話いただきました。「人権」とは人を「尊重」することで、人との違いや共通点を知ることが大切だということ学びました。

午後の研修の前半は、守山市環境生活部環境政策課武田みゆきさんから、守山の自然環境を守っていくための取り組みや、これからの環境学習の進め方などについてご講話いただきました。グループワークでは、これからできそうな環境学習について意見を出し合いました。後半は環境センターの見学をし、手作業でラベルをはがす工程を見たり、たくさんのごみを目にしたりすることで、現地では学べない学びをすることができました。



受講者の感想から

- ・内容項目を踏まえた、多面的・多角的に考えることができる発問や授業を大切にしていきたいと思った。
- ・正しい知識をもち、差別をしない子どもたちを育てるために、まず自分自身がしっかりと人権感覚を磨いていきたい。
- ・環境学習というと水質調査や森林学習など硬いものばかり思い浮かびますが、琵琶湖に触れたり、楽しく活動したりすることが最後には環境教育につながることを学びました。

第1回ステップアップ研修

令和5年5月30日(火)

(エルセンター)

- 今年度、2ヶ月の学校生活を振り返って
- 授業づくりマニュアル

第1回2年次研修

令和5年6月15日(木)

(地域総合センター)

- これまでの学校生活を振り返って①

第1回ボトムアップ研修

令和5年6月23日(金)

(エルセンター)

- 2か月を振り返って
- 守山の教育、子どもについて
- 2校目の先生に期待すること

特別支援教育研修講座(D-1)

「ユニバーサルデザインの考えを取り入れた
学級づくり・授業づくりを考える」
(物部小 岡田 伊津子 教頭)

◇「どの子どもにとって」という視点を大切に、視覚支援の方法を具体的にお話しいただきました。ワーキングメモリが弱い子どもの感覚を実際に体験し、よりよい学級づくり・授業づくりの視点を学ぶことができました。



夏休みの研修講座のご受講もよろしくお願ひします。

生徒指導・教育相談研修講座(A-1)

「1学期の学級づくりをふり返って
～学級をまとめる秘訣とは～」
(学校教育課 小川 宏 「特別活動」教育推進員)

◇子どもたちが自分事として振り返ることができる学級目標や振り返りの仕方、振り返りを次の実践に生かす方法を小川先生の実践からたくさん学ぶことができました。



幼児教育研修講座(I-1)

「保育者のための絵本講座
～もっと知りたい絵本の魅力～」
(守山市立図書館 佐藤 志歩 司書)

◇子どもの年齢や発達に応じた絵本の紹介をしていただき、実際に絵本の読み聞かせをしていただくことで、どんな間合いなのか、どんなやり取りをするのか学ぶことができました。

令和5年度の研究組織の紹介

次のような体制で研究を進めてまいります。1年間よろしくお願ひします。



教育に関する調査研究

★テーマ 若手教員のよりよい子ども支援のための教育相談のあり方

・若手の先生方がよりよい子ども支援を行っていただけるよう取り組みます。また、その支援に役立てていただけるような教育相談パンフレットを作成します。

★研究組織

(敬称略)

指導講師	上村 文子 (滋賀県 SSW、SV、社会福祉士) 水野 恵 (学校教育課 子ども支援コーディネーター)
研究協力員	横山 志保 (吉身小学校) 城領 裕美子 (玉津小学校) 定森 多貴 (守山中学校) 津田 朱美 (守山北中学校)
教育研究所	脇阪 久徳 (所長) 小井 直子 (係長) 折木 公美 (研究員)

指導力向上に関する研究

★テーマ 子どもが話し合う、子どもが動き出す、とっておきの学級活動Ⅱ ークラスづくりは学級会からー



・小学校の学級活動の実践を通して、子どもが自ら課題を見つけ、主体的に話し合い、実践する力の育成をめざし、取り組みます。

★研究組織

(敬称略)

指導講師	小川 宏 (学校教育課「特別活動」教育推進員)
研究協力員	上田 千裕 (河西小学校) 熊谷 龍 (速野小学校) 松岡 柊人 (物部小学校)
教育研究所	脇阪 久徳 (所長) 小井 直子 (係長) 折木 公美 (研究員)



第7回生徒会サミットを開催しました



令和5年6月3日(土)、守山市生涯学習・教育支援センター(エルセンター)に市内5中学校(県立守山中学校は都合により欠席)の生徒代表者が一堂に会し、第7回生徒会サミットを開催しました。

各校からの実践報告に先立ち、まずは、生徒会サミットを代表して、守山南中生徒会より3月に行ったトルコ募金活動の報告とお礼がありました。サミットで培った絆が募金活動でも活かされ、各校で工夫して募金活動に取り組むことができたこと、そのことが多くの支援の輪につながったことが報告されました。続いて、各校から活動が報告されました。活動方針として決めていた「スマホ SNS」「交通マナー」に関しては、時間がなく取組が進められていないという報告が多く寄せられました。



各校からの報告を受け、「スマホ SNS」「交通マナー」に関する効果的な取組はどのようなものか、今後の活動方針を討議しました。同時に2つの協議をうまく進めることができないことから、「交通マナー」にテーマを絞り、協議を重ねました。今回のサミットにも、青少年育成市民会議の皆さんにもグループ討議に参加いただき、大人の目線や地域の実情を基にした意見もいただきました。なかなか効果的な活動が見いだ

しにくいテーマでありましたが、活動の難しさも共有した中での協議となり、和気あいあいとした雰囲気の中、実践的な議論が行われました。

教育長や社会教育・文化振興課長にも参観いただき、閉会行事では激励の言葉もいただきました。子どもたちにとって、これからの活動意欲を高める、たいへん充実した時間となりました。

なお、今回運営担当の市立守山中学校生徒会の準備や後始末でのテキパキとした動きと明るい司会の雰囲気は、今回の生徒会サミットを支えてくれました。ありがとうございました。



1 今後の活動について

- (1)「交通マナー」の意識をより高めるために、「ポスター」を制作する。
- (2)意識を高めてもらえるように、できるだけインパクトを与えるようなものを制作する。
- (3)「動画」や「啓発放送」を作成した場合は、市内の学校でシェアする。

2 次回の開催について

日時：8月9日(水) 午後1時15分から午後4時45分 場所：市立守山中学校 会議室

郷土守山に学ぶ研修講座Ⅱ

歴史を秘めた仏たちと蓮生寺 6月16日 開催

今回の郷土守山に学ぶ研修講座は、「歴史を秘めた仏たちと蓮生寺」と題し、国の重要文化財を安置している薬師堂と、蓮生寺さんにお邪魔しました。

蓮生寺前住職 三品さんと守山市文化財保護課主任 渡邊さんを講師にお迎えし、薬師堂の木造仏頭の由来や、蓮如上人との関わり、この地に仏教文化が栄えた事など前住職の、ユーモアを交えながら大変興味深い説明をいただきました。



<参加者の感想から>

三宅にこんな立派な寺院や阿弥陀堂があることを、これまで知りませんでした。また、六字名号、親鸞聖人、蓮如上人座像、木造仏頭などなど、素晴らしい宝物の数々を見せていただき感激いたしました。土塁の跡もぐるりと囲んでいる竹藪とともにハッキリとわかりました。なによりも蓮生寺さんと檀家さんとの信頼関係が素晴らしいと思いました。



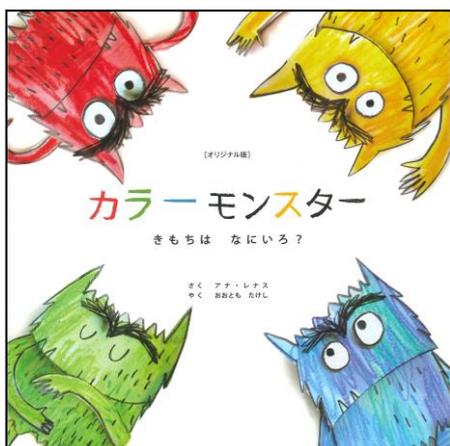
ご家庭や園・学校で

～こんな時、絵本を活用してみませんか？～

日々の生活の中で、お子さんが自分の思いをうまく言葉にできなかつたり、あふれる感情をどうしたらいいかわからなかつたりして、困っている様子はありませんか？ そんな時は、まず保護者や先生が、本人の気持ち・体の変化を受けとめ、認めてあげましょう。すると、気持ちが落ち着くだけでなく、お子さん自身が“自分を大事にできる感覚”や“自分のことを大切にしてくれる安心感・喜び”を改めて感じられる機会にもなります。でも、どうやって受けとめ、認めてあげるとよいのか分からない時もありますよね。そんな時には絵本が役立つかもしれません。

今回紹介する2冊の本は教育相談でも活用している本です。絵本は自分の状況や気持ちに気づいたり、整理したりする際にとってもおすすめのアイテムです。お子さんだけでなく、保護者や先生など大人にもおすすめです！ お子さんと一緒に読んでみてはいかがでしょうか。

カラーモンスター きもちはなにいろ？ / 作：アナ・レナス 訳：おおともたけし 永岡書店



いろいろな感情が混じり合っただけで体の色がぐちゃぐちゃになってしまったモンスター。そこで、一つ一つの感情を色分けし、モンスターは自分の気持ちを整理していこうとするのですが…。

この本では、嬉しい気持ちは黄色、怒りの気持ちは赤など、色で表現されています。これにより、自分の感情と適度な距離が取れ、素直に自分の気持ちと向き合いやすくなります。言葉では表せなかった思いが出てくるかもしれません。

モンスターの感情を知ることは、相手の感情を知ることもつながります。アンガーマネジメントにもおすすめの1冊です。

今、あなたの気持ちは何色ですか？

子どものためのマインドフルネス / 作：キラ・ウィリー 訳：大前康彦 イラスト：アンニ・ベッツ 創元社



子どもが悲しんだり腹を立てていたりする姿を見た時はどうしていますか？ 何かアドバイスができればと思うものの、どうアプローチすればよいものか、困ってしまう時はありませんか？

そんな時、単刀直入に「悲しかったり腹が立ったりしたら、悲しい顔や怒った顔をすればいいんだよ」と言われたらどうでしょう。目からウロコ、そんなことでいいんだと妙に納得して、肩の荷が下りる気がするのでしょうか。

この本には、子どもの心やからだをゆったり落ち着かせるエクササイズがいっぱい詰まっています。好きなところからページを開けて、お子さんやあなた自身に合ったエクササイズをぜひ見つけてください。